

平成 30 年 9 月 19 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（要望者）

〒136-8670

住所 東京都江東区東砂2-14-5

事業者名 パラマウントベッド株式会社

担当者所属 技術開発本部 技術戦略室

担当者名 山口 悟史

電話番号 03-3648-1173

電子メールアドレス sa.yamaguchi@paramount.co.jp

介護ロボット等モニター調査事業 要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して要望します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書（別紙）
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書（別紙）」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書

1. 申請者（企業）の概要

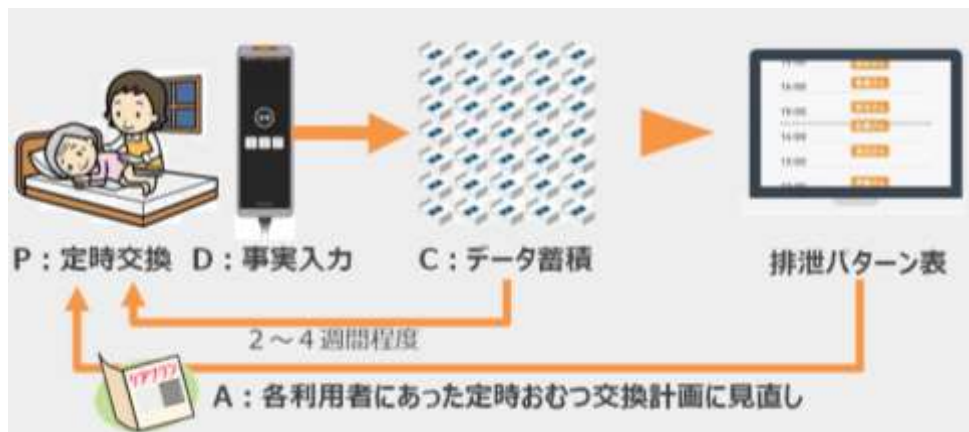
企業名	パラマウントベッド株式会社	
担当者名	山口 悟史	
担当者連絡先	住所	〒136-8670 東京都江東区東砂2-14-5
	電話	03-3648-1173
	電子メールアドレス	sa.yamaguchi@paramount.co.jp
主たる業種	1. 医療・介護用ベッド等および什器備品の製造、販売 2. 医療福祉機器および家具等の製造、販売 3. 上記品目に関する輸出入、リース、レンタル、および保守・修理	
主要な製品	医療・介護用ベッド	
希望する施設等の種類や職種等	下記の条件を満たす施設を希望します。 ・ 特別養護老人ホーム ・ 入居者の排泄パターンを把握し、個人別の定時おむつ交換を実施しており、または実施を目指しており、排泄パターンを把握する業務の負担を改善したい施設 ・ 下記、使用者像にあたる被験者を5名前後、ご用意いただける施設 ※使用者は1つのユニット(フロア)に集まっていることが、より望ましいです。	
その他	<希望エリア> ・ 都内、千葉県北西部、埼玉県南部、神奈川県東部(弊社から1時間半圏内)	

2. 申請機器の概要（可能な限り詳しくご記入ください。）

機器の名称（仮称）	排泄モニタリングシステム Helppad(ヘルプパッド)
機器の概要 (写真を添付すること)	<u>想定する使用者、使用場面</u> <使用者像> ・ 寝たきりで、常におむつ内での排泄をされている要介護者 <使用環境> ・ ベッド上
	<u>機能と使用方法、有用性</u> <機能> ・ 排泄したことを検知して、その記録をデータ化し、排泄パターン表を自動で作成します。(検知したことを通知することも可能) <使用方法> ・ 設置 マットレス上に、Helppad(下図の青いシート)を敷きます。 ベッドのフットボードに、操作スイッチ(下図のグレーのスイッチ)を設置します。 スタッフステーションに、インターネットに接続したパソコンを設置します。



- ・ 日々の運用
 使用者は、Helppad(上図の青いシート)の上に臀部を乗せて寝ていただきます。
 ※ 紙おむつやズボンは着用したままで構いません。
 介護者は、日々のおむつ交換で確認した排泄内容(尿・便・なし)を、操作スイッチに入力します。
 ※ おむつ交換の実施は、普段の定時おむつ交換で良く、必ずしもHelppadの通知に従う必要はありません。
- ・ データの蓄積
 排泄の検知結果と上記の入力結果のデータが、パソコンに蓄積されます。
- ・ データの活用
 蓄積したデータを基に自動で排泄パターン表が作成されます。
 排泄パターン表を用いて、各使用者により適したおむつ交換計画の見直します。
 また、見直したおむつ交換計画で排泄ケアを実施中にもHelppadを継続して利用することで、季節や体調の変化による排泄パターンの変化に気づくなど、PDCAサイクルを回します。



<有用性>

- ・ 現状で入居者の排泄パターンを把握する場合は、数週間、2時間毎におむつを開け、排泄物の有無をチェック・記録するなどの負担が発生します。
 → Helppadは、普段の定時おむつ交換のままでも排泄パターンを把握できるようサポート
- ・ 現状でおむつ交換の計画(タイミング)を決めるのは、主にベテランスタッフの経験と勘が頼りとなります。
 → Helppadは、定量的なデータを提供しておむつ交換計画の検討をサポート

	<p><u>類似する機器との相違</u></p> <p>① 人体には非装着。ズボンやおむつは履いたまま、シート上に寝ればOK</p> <p>② においセンサーで、尿と便の両方を検知</p> <p>③ 排泄した記録をデータ化し、排泄パターン表を自動で作成</p> <p><u>当該機器と介護業務との関連性</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 排泄ケアにおいて、排泄リズムを把握するには、おむつ内のチェック・記録を、例えば2時間おきに、数週間行う必要があります。本製品はこの作業を不要にし、普段の定時おむつ交換を行う中で、排泄リズムを把握できるようサポートします。
現在の開発状況と課題	<p><u>機器に関するリスクアセスメント</u>（性能安全と利用安の確保対策）</p> <p><社内外でのテストの実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 電氣的・機械的な安全性に関する試験を実施して合格済み JIS-T0601-1:2017、JIS-T0601-1-2:2012等から、関連項目を参照し、評価を実施 社内でのリスクアセスメントを実施・対応済み
	<p><u>社内や社外モニター調査の実績</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の本モニター調査事業に、当時の試作機で参加しました。（案件番号：27-C16） 上記に参加後、数施設でモニター評価を実施。主な利用目的を「排泄パターン表を自動作成することで、個人にあった定時おむつ交換の実現をサポート」に決めました。
	<p><u>開発に関する当面の課題</u></p> <p><課題：Helppadの利用目的の周知></p> <p>多くの方が「排泄検知センサー」からイメージする使い方は、「センサーが検知したら、すぐにおむつ交換」です。この使い方は、他の多くのケアが計画的に行われるのに対して、排泄ケアだけが非計画的に行われることになるため、無理が生じ、継続的な運用は困難です。</p> <p>一方で、「排泄モニタリングシステム」であるHelppadの利用目的は、「排泄パターン表を自動作成して、個人にあった定時おむつ交換の実現をサポート」することです。</p> <p>よって、「センサーが検知したら、すぐにおむつ交換」するイメージを払拭するために、運用実績を増やし、「排泄モニタリングシステム」であるHelppadの利用目的を周知することが課題です。</p>

3. モニター調査したい内容（協力施設等へお願いしたい内容）

※募集要項のP7を参考にモニター調査したい内容を具体的に記載してください。

（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

1. 利用対象者の適用範囲に関すること	特になし。
---------------------	-------

2. 利用環境の条件に関する事	特になし。
3. 機器の利用効果に関する事	<p><Helppadの運用効果の確認></p> <p>① 介護者は、より少ない負担でおむつ交換計画を見直せたか？ 例：Helppadを使うことで、今までより楽に排泄パターンを把握できた。 例：Helppadによる排泄パターンを把握する業務の負担は許容範囲であった。 など</p> <p>② 定量化された排泄パターン表は、おむつ交換計画の見直しに有効か？ 例：Helppadは、その使用者の排泄パターンを適切に示したと感じられた。 例：Helppadが提供した排泄パターン表は参考になった。 など</p> <p>③ 排泄パターン表を基に見直したおむつ交換計画は、より有用な計画になったか？ 例：おむつ交換の回数を減らせることが分かった。 例：尿漏れの発生頻度が減った。 例：おむつ交換タイミングが適切になり、使用者の肌の状態が改善された。 など</p> <p>上記①～③の視点から、Helppadを使った効果について、インタビューさせていただきます。</p>
4. 機器の使い勝手に関する事	<p><ユーザーインターフェースの確認></p> <p>① 操作スイッチに関して、操作性 ② パソコンのアプリケーションに関して、表示内容の理解のしやすさ</p> <p><設置／メンテナンス性の確認></p> <p>③ シート部に関して、ベッド上への設置性、及びメンテナンス性</p> <p>以上について、ご利用いただいた後に、アンケートとインタビューで確認させていただきます。</p>
5. 介護現場での利用の継続性に関する事	<p><利用の継続性の確認></p> <p>① Helppadを継続して利用したいか？ ② ①の理由(利用した効果の有無、使い勝手の問題の有無など)</p> <p>以上について、モニター調査の最終時に、インタビューさせていただきます。</p>
6. その他	<p><その他の確認></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニター評価中、排泄パターン表を用いて、個別の定時おむつ交換の見直しを検討していただきます。その際は、弊社の担当者と一緒にディスカッションさせていただきます。 ・ 弊社から説明した運用方法以外で、モニター評価中に独自に工夫や調整をした運用方法等があれば、伺わせていただきます。

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。



社長挨拶

当社グループは1947年（昭和22年）に創業。病院用ベッドの専業メーカーとしてスタートし、その後、高齢化の進展を背景として、高齢者施設や在宅介護分野にも事業領域を拡大しながら、さまざまな製品・サービスを開発してまいりました。近年では、海外においてアジア・中南米地域を中心に拠点展開を進めるなど、国内外においてヘルスケア分野を中心とした事業の多角化に取り組んでおります。今後も「as human, for human（人として、人のために）」を企業スローガンに、お客様満足度および企業価値のさらなる向上を目指し、事業活動等を通じて社会に貢献してまいりたいと考えております。あたたかいご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

代表取締役社長 木村 恭介



企業理念：「先進の技術と優しさで、快適なヘルスケア環境を創造します」

ステートメント：「as human, for human（人として、人のために）」

企業概要

社名	パラマウントベッド株式会社
英名	PARAMOUNT BED CO., LTD.
本社	〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
電話	(03) 3648-1111（大代表）
創業	1947年5月
設立	1950年5月
資本金	65億9,132万円
代表者	代表取締役社長 木村恭介
主な事業内容	1. 医療・介護用ベッド等および什器備品の製造、販売 2. 医療福祉機器および家具等の製造、販売 3. 上記品目に関する輸出入、リース、レンタル、および保守・修理
主な関連会社	PT. パラマウントベッド インドネシア 八楽夢床業(中国)有限公司 パラマウントベッド・タイランド
従業員数	898名（2018年3月31日現在）
アクセス	お車をご利用の方 【主要なアクセス方法】 新大橋方面より新大橋通りを東へ大島8丁目交差点を右折（約580m） 公共交通機関をご利用の方 【JRからのバスでのアクセス方法】 総武線「亀戸駅」下車。北口ロータリーから「3番のりば24系統『東砂六丁目行き（大島駅前経由）』」乗車（約20分） 「第5大島小学校前」下車後、徒歩（約2分） 【地下鉄からのアクセス方法】 都営新宿線「東大島駅」下車。大島口より徒歩（約8分）